

第二庁舎取得によるリース庁舎の解消が提案されたが…

現在、小金井市庁舎は市長室や議会の
ある本庁舎(約3000㎡)と第二庁舎(約
6000㎡)により、市の業務が遂行されて
います。二棟合わせても必要とされる面積
12000㎡に満たないことや、本庁舎が古
い建物であることから、蛇の目跡地に総合庁
舎を建てる計画を持っています。第二庁舎が
賃借庁舎(リース庁舎)であり、長い間リー
ス庁舎の早期解消が政治課題になっていまし
た。今の賃貸借契約はあと4年余りであるこ
とから、議会でもたびたび契約更新をしない
ようという指摘がされてきました。

財政難、そして資材高騰から

しかし、市の財政状況は厳しく、蛇の目跡
地への総合庁舎を建てるには基金の積み立て
もなかなか予定通りにはいかず、さらに昨今
の資材高騰から、市長は議会に対し、総合庁
舎の建設凍結と第二庁舎の買い取りの提案を
しました。理由は、15年の起債(借金)をする
ことにより、返済していく方が賃借料より毎
年約1億円ほど安くなるという試算が出たか
らです。この買い取りを可能にしたのは、起

債条件が緩和されたことや地主と信託契約を
していた信託銀行が契約を解除し、小金井市
と地主の直接契約になったことです。

合わせて、起債をするのに金利の安い東京
都の振興協会への申請締め切りが迫ってい
たため、9月16日の急な提案となりました
が、26日ころまでに議会が補正予算を可決す
れば約1億円近い経費の削減が可能になる
という提案でした。

時間切れ、議長の進言を受け、 市長は議案を撤回

議会の全員協議会は5日間断続的に行わ
れ、160項目以上の資料請求、武蔵小金井
南口第二地区の再開発とからめてのつきない
議論が続く、結局振興協会の起債は時間切れ
で、議会がこの提案にストップをかけた結果
に終わりました。

蛇の目跡地への総合庁舎建設の方針は変えず

今回の提案は、基本方
針である蛇の目跡地での
総合庁舎建設は変えず、
かさむ社会保障費をわか
ける小金井市が、厳しい
財政運営を強いられる中、
少しでもやりくりをして、
年間経費の削減を図ろう
とするものでした。野党
は、財政難を知りながら、
何故庁舎建設基金を積み
なかつたかとの質問を続
け、経費削減には抵抗を
続けました。さらに、市
民に説明する前に議決は
すべきでない、市民に
責任を押し付け自らの責
任を放棄するかの発言が
続きました。



ホームページを作りました。 <http://igarashi-kyoko.com>

五十嵐京子 公式サイト

検索

2014年10月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920

小金井で元気に！小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第38号